

日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
(事務局 藤木幸雄)
〒571 大阪府門真市殿島町7番6号
松下産業衛生科学センター内
FAX 06-902-2019
発行責任者(地方会長) 堀口俊一

第35回 近畿産業衛生学会

主催 日本産業衛生学会近畿地方会
後援 京都府医師会
京都産業保健推進センター
学会長 田中健一(京都工場保健会顧問)

日 時 1995年11月11日(土) 9:15~16:30
会 場 京都府中小企業会館 801会議室 (第1会場)
802会議室 (第2会場)
2階大ホール(第3会場)
京都市右京区西院東中水町17(西大路5条下ル東側)
電話 075(314)7171

メインテーマ 産業保健の展望 — 21世紀へかけて —
招聘講演 韓国の産業保健問題
特別講演 Job Satisfaction の意味するもの
パネルディスカッション 産業保健の現況と明日への期待
評議員会 12時30分より13時10分(8階 806会議室)

学会開催にあたって

財団法人 京都工場保健会

田 中 健 一

第35回近畿産業衛生学会の開催にあたり、ご挨拶を申し述べさせていただきます。

今回は先年、建都1200年を祝ったばかりの古都京都で、この学会が開催されることになりましたが、戦後50年を迎えると同時に、21世紀を数年後にひかえた本年には、年頭から予想も出来なかった事件があいついだことはご存じの通りです。

それらのことごとくが、直接的に産業保健にかかわるものでないにせよ、これをひとつの契機に、近年ややマンネリ化されたひびきを伴って使われている、「21世紀へかけて」というフレーズをあらためて見直す機会にしてもよいのではないか、という思いがあり、本年の学会

ではメインテーマ「産業保健の展望 — 21世紀へかけて —」を選び、またそれにふさわしい特別企画を設定することを意図しました。

まず招聘講演として、大韓産業保健協会会長曹圭常先生により、「韓国の産業保健問題」と題するスピーチを頂戴することにしました。日帝支配解放よりちょうど半世紀を経過した韓国の経済発展には近年めざましいものがありますが、そこには明治以降日本が経験してきたと同様な典型的な職業病から、成人病、ストレス等の諸問題までが、ビデオテープを早送りしているかのように見てとれます。この間、一貫して韓国産業保健の領域で指導的役割を演じられてこられた曹先生の経験からは、テ

ンポの早いこれからの社会へ対応するための、貴重な示唆が得られるのではないかと期待しています。

次に特別講演として阪大環境医学教室教授森本兼曩先生からは「Job Satisfactionの意味するもの」と題するスピーチを拝聴することになっています。

近年産業保健の領域で、成人病の一次予防が注目されていることはご存じの通りであります。老化現象としての疾病が避けがたいものであるとするならば、いわゆる「疾病の予防」をこえて、「生きがい」、「働くことの喜び」が、産業保健の課題としてもとりあげられてよいものと思われれます。従来このようなテーマへの取り組みは、人文社会科学的アプローチに所属するものとして、産業保健の領域では敬遠されて来た傾向があったようにも思われますが、森本先生は、自然科学的立脚点を失わず、この問題に積極的にアプローチされており、我々の期待にそうお話をいただけるものと思っています。

本学会では、パネルディスカッションとして、関西医科大学教授徳永力雄先生の司会により、「産業保健の現況と明日への期待」をとりあげることにしました。

会場へのご案内

●京都市中小企業会館

京都市右京区西院東中水町17 ☎ 075-314-7171
(西大路通り五条下東側)

★JR「京都駅」より

駅前市バスのりば、Bターミナル・3番から出ている205番の市バスで「西大路花屋町」下車、バス進行方向100m先右側。所要時間約20分。(チョコレート色8階建てビルです。)

★阪急電車「西院」より

西大路通を南へ徒歩約10分。
(西大路五条の次の信号左角。西大路通に面しています。)

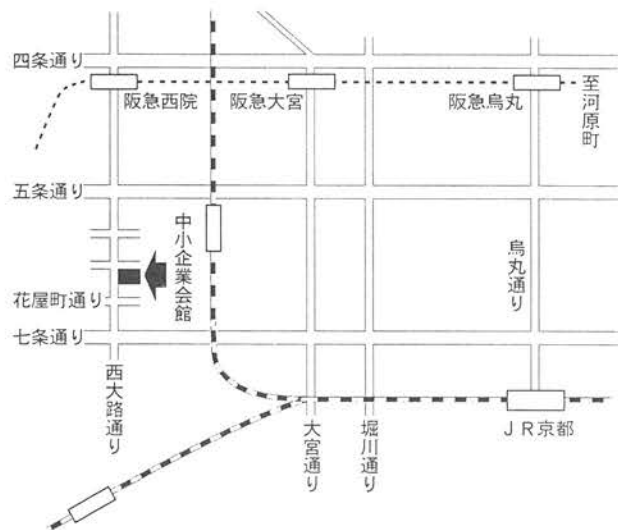
★駐車場は有料です。

利用される方は入口で駐車許可をもらって下さい。
なお満車の場合は利用できませんのでご注意下さい。

似かよったタイトルでの企画は、これまでもいろいろな機会に繰り返されて来ていますが、本年はそれぞれ個性豊かな3名の演者によって、ユニークな切り口での議論が展開されるものと期待しています。

一般演題ではまず、例年を上回る応募のあったことに感謝の意を表したいと思います。本年は、ほとんどレギュラーメンバーと形容してもよさそうな所属機関発表者からのみならず、これまでこの学会に比較的なじみの少なかった所属機関からも多くの出題があり、このことは本学会のこれからのますますの活性化につながる動きではないかと受け止めています。

本年は、例年実施されている学会終了後の懇親会を中止することにしました。これは学術討論のみに終始した学会の開催が、たまにはあってもよいのではないかと考えたことが主な理由になっています。晩秋の古都で一夕旧交をあたためたいとの思いをお持ちの方々に対しては、申し訳ない思いも残りますが、あらかじめご承知の上、学会参加のプランをお立ていただくようお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきたいと思います。



市バス西大路花屋町又は西大路五条下車
(快速バスは西大路花屋町には停車しません。)

1. 参加の手引き

- ①受付開始時間は午前9時からです。
- ②受付は8階第2会場前です。
- ③駐車場はありますが、十分に利用できる可能性は少ないので、なるべく車でお越しはご遠慮下さい。
- ④参加費は会員1,000円、会員外の当日会員は2,000円です。受付でお納め下さい。

2. 演者の方へ

- ①講演時間は7分、質疑時間は3分です。時間を厳守して下さい。スライド、OHPの使用はできません。
- ②学会誌「産業衛生学雑誌」掲載用の抄録を800字以内にまとめ、当日受付に提出して下さい。
- ③配布資料を用いる場合は、150部ほどご用意下さい。

3. 認定産業医および認定産業医をめざす方へ

本学会での特別講演、パネルディスカッションへの参加によって、日本医師会認定産業医制度による、生涯研修(専門)3単位、基礎研修(後期)3単位が認められます。医師会の受付で申請して下さい。

第35回 近畿産業衛生学会プログラム

第1会場(9:15~11:45)

- 9:15~9:55 座長 近藤雄二(天理大学・体育学部)
- 101 輸送用機械器具製造事業場の労働災害5年間(平成2~6)の統計的観察
○請田安夫 藤本孝助(サンコール診療所・安全環境整備室)
- 102 身体移動に関する事故・災害—高齢者歩行環境について—
○三戸秀樹 岡本悦司(近畿大学・医・公衆衛生)
- 103 某市役所「保育関係者」の頸肩腕障害・腰痛等健康診断結果
○瓢池義彦¹⁾ 日野 孝¹⁾ 山崎至男¹⁾ 大河内満¹⁾ 圓藤吟史²⁾
(¹日本予防医学協会関西支部 ²大阪市大・医・環境衛生)
- 104 障害児学校教員の腰痛 発生要因の検討
○埴田和史 山下尋美 西山勝夫 北原照子 渡部真也
(滋賀医大・予防医学)
- 9:55~10:25 座長 西山勝夫(滋賀医大・予防医学)
- 105 加速度脈波を用いた振動工具取扱者の末梢循環機能の評価
○ゲーオープンチャー・オラワン 宮下和久 石居宣子 松本政信 富田耕太郎 森岡郁晴 武田真太郎
(和歌山医大・衛生)
- 106 ライフスタイルと包括的健康評価に関する予防医学的研究(第21報) システムエンジニアの食事の規則性に関連する要因
○江副智子 森本兼囊(阪大・医・環境医学)
- 107 メンタルヘルスとクオリティ・オブ・ライフ(QOL)に関する予防医学的研究(第25報)
—職場ストレスとライフスタイルとの関連性—
○丸山総一郎 森本兼囊(阪大・医・環境医学)
- 10:25~11:05 座長 平田 衛(大阪府立公衛研・労働衛生)
- 108 産業看護活動について(第3報)
○植本寿満枝 上田美代子 上田進子 岡田治子 船岡恵美子 松本泉美 中島美絵子 志岐初子 兵庫麻紗子 野田悦子 大脇多美代
(産衛・近畿地方・産業看護研究会)
- 109 従業員家族を対象とした成人病健診の結果と保健指導の意義
○小川 妙 中村吉成 葭川明義 茂原 治
(住友金属工業・和歌山・健康管理センター)
- 110 健診とプライマリ・ケア 健診時の皮膚所見・疾患 その2
○中野碩夫¹⁾ 庄司昭伸²⁾ 圓藤吟史³⁾ 柏田恵美子³⁾ 中野昭子¹⁾
(¹M・Oクリニック ²大阪回生病院 ³大阪市大・医・環境衛生)
- 111 肥満対策の現況と展開(第2報)
○三好佳子¹⁾ 三好雅美²⁾
(¹三洋電機・健保・枚方診療所 ²三洋電機・健保・保健医療センター)
- 11:05~11:45 座長 宮上浩史(松下産業衛生科学センター)
- 112 超音波法による男性労働者骨検診についての検討
○日野 孝¹⁾ 山崎至男¹⁾ 綿谷 茂¹⁾ 倉下直己¹⁾ 圓藤吟史²⁾
(¹日本予防医学協会関西支部 ²大阪市大・医・環境衛生)
- 113 小規模事業所における胃集検についての検討
○高橋達夫 山本和永 山元 稔 村田忠正 芳田道夫 竹村義治 大道重夫 山下直二郎 吉川潤一郎
(滋賀保健研究センター)
- 114 健診における心電図異常波形について
○東田雅人 山内盛正 吉川潤一郎 高橋達夫 山下直二郎 大道重夫 仁木偉瑛夫(滋賀保健研究センター)
- 115 定期健康診断における選別聴力検査について

○辻村市郎 村田忠正 桜井 伸 吉川潤一郎 高橋達夫 大道重夫 山下直二郎(滋賀保健研究センター)

第2会場(9:15~11:45)

- 9:15~9:55 座長 寺本敬子(大阪市大・医・環境衛生)
- 201 ICP発光分析法を用いたヒト血清中ホウ素濃度の測定
○臼田 寛 河野公一 渡辺美鈴 高橋由香 西浦公朗 炭 美子 後藤英太 坂上陽子 吉田康久
(大阪医大・衛生公衆衛生)
- 202 ラット経口投与によるFerulic acidのフッ素代謝への影響について(第一報)
○劉 偉 河野公一 織田行雄 土手友太郎 臼田 寛 長家秀博 田川輝璋 吉田康久(大阪医大・衛生公衆衛生)
- 203 イソプロピルアクリルアミドの代謝
○谷井秀治¹⁾ 河合俊夫²⁾ 橋本和夫¹⁾
(¹金沢大・医・衛生 ²中災防大阪センター)
- 204 騒音とゲンタマイシンの複合暴露がラットの聴性脳幹反応に及ぼす影響
○山本博一 羅 維之 黒田基嗣 森岡郁晴 宮下和久 武田真太郎(和歌山医大・衛生)
- 9:55~10:25 座長 宮下和久(和歌山医大・衛生)
- 205 飲酒行動の遺伝制御因子とその身体的健康度への影響(第13報)—職域集団におけるアセトアルデヒド—ヘモグロビン付加体の定量—
○竹下達也¹⁾ 河合俊夫²⁾ 森本兼囊¹⁾
(¹阪大・医・環境医学 ²中災防大阪センター)
- 206 ライフスタイル環境要因の遺伝影響評価(第8報) ライフスタイルのリンパ球小核形成頻度および尿中変異原性に与える影響について
○牟礼佳苗 竹内 享 竹下達也 森本兼囊
(阪大・医・環境医学)
- 207 鉛取り扱作業中止4~20年後の鉛暴露指標の変化
○寺本敬子¹⁾ 清田郁子¹⁾ 圓藤吟史¹⁾ 堀口俊一²⁾
(¹大阪市大・医・環境衛生 ²中災防大阪センター)
- 10:25~11:05 瓢池義彦(日本予防医学協会関西支部)
- 208 阪神大震災被災地区における粉塵暴露
○中田 実¹⁾ 田淵武夫²⁾ 浅野茂樹¹⁾ 毛利一平³⁾ 酒井 潔⁴⁾ 石田雅朗⁵⁾
(¹淀川勤労者厚生協会社会医学研究所 ²大阪府立公衆衛生研究所 ³奈良医大 ⁴名古屋市立衛生研究所 ⁵金沢医大)
- 209 土木・建築従事者の震災前後の呼吸器症状について
○永井伸彦 山本良二 二宮ルリ子 小泉直子
(兵庫医大・公衆衛生)
- 210 ポリエステル樹脂使用作業場の環境改善への取り組み
○杉上一郎¹⁾ 味山友里子²⁾ 河合俊夫²⁾ 堀口俊一²⁾
(¹美松ヶ丘クリニック ²中災防大阪センター)
- 211 ボタン製造業における実態調査と環境改善事例
○河合俊夫¹⁾ 水沼一典¹⁾ 宮下和久²⁾ 森岡郁晴²⁾ 武田真太郎²⁾
(¹中災防大阪センター ²和歌山医大・衛生)
- 11:05~11:45 座長 河野公一(大阪医大・衛生公衆衛生)
- 212 パラアニジン取扱者の尿中ジアゾ反応陽性物質濃度
○吉田宗弘¹⁾ 須永匡彦²⁾ 原 一郎³⁾
(¹関西医大・公衆衛生 ²関西医大・香里病院・第1内科 ³現大阪府立勤労者健康サービスセンター)
- 213 EDLランプフレームレス原子吸光法による尿中ヒ素の分析
○小立尚紀¹⁾ 沖 渡²⁾ 水沼一典¹⁾ 河合俊夫¹⁾ 堀口俊一¹⁾(¹中災防大阪センター ²日製産業)

- 214 トルエン分析のために尿をガラス瓶に採集した場合の保存性の検討
 ○岡田洋子¹⁾ 水沼一典¹⁾ 河合俊夫¹⁾ 堀口俊一¹⁾
 池田正之²⁾ (¹中災防大阪センター ²京大・医・公衆衛生)
- 215 尿中溶剤の保存安定性について
 ○宮本直子 道辻広美 大原昭男 山口恭平 藤木幸雄
 (松下産業衛生科学センター)

第1会場 (11:50~12:20)

招聘講演 「韓国の産業保健問題」
 大韓産業保健協会会長 曹 圭 常
 座 長 池田正之 (京大・医・公衆衛生)

806 会議室 (12:30~13:10)

評議員会

第3会場 (13:20~16:30)

地方会長, 学会長あいさつ 13:20~13:30
 特別講演 13:30~14:30
 「Job Satisfactionの意味するもの」
 阪大医学部環境医学教室教授 森本兼囊
 座 長 田中健一 (京都工場保健会)
 パネルディスカッション 14:30~16:30
 「産業保健の現況と明日への期待」
 司 会 関西医大衛生学教室教授 徳永力雄
 パネラー 朝枝哲也 (京都工場保健会)
 榎屋義雄 (大阪府城東区医師会)
 野田悦子 (住友金属工業)

研究会等のお知らせ

日本産業衛生学会 第7回産業神経・行動研究会

日 時 1995年10月6日(金)午前10時から午後5時まで
 場 所 大阪市北区梅田1丁目大阪駅前第3ビル16階
 大阪市立大学文化交流センター (☎06-344-5425)
 特別講演 「NO-GO potential について」
 玄番央恵 関西医科大学第2生理学教授
 一般講演 11題
 本研究会が近畿で開催されるのは初めてです。関心がある方は気軽にご参加ください。第7回世話人 平田 衛, 橋本和夫
 連絡先 〒537 大阪市東成区中道1丁目3番69号
 大阪府立公衆衛生研究所 労働衛生部 平田 衛
 ☎06-972-1321 FAX06-972-2393

日本産業衛生学会第26回職業性アレルギー(免疫毒性)研究会

日 時 1995年12月2日(土)午後1時~午後4時半(予定)
 場 所 東北大学医学部1号館(基礎棟)第2講義室
 ◎特別報告
 「職業アレルギー・研究の到達点と課題」
 大阪大学医学部環境医学教授 森本 兼囊
 ◎特別講演
 ◇「農薬中毒」
 熊本大学医学部衛生学教授 上田 厚
 ◇「肺疾患と職業アレルギー」
 仙台オープン病院呼吸器科部長 小西 一樹
 ◇「皮膚疾患と職業アレルギー」
 東北大学医学部皮膚科助教授 加藤 奏三
 ◇「作業関連物質による自己免疫疾患研究の国際動向」
 川崎医科大学衛生学教授 植木 絢子
 ◎一般演題も募集していますので、下記事務局に10月31日までにご連絡ください。
 世話人 佐藤 洋(東北大学医学部衛生学)
 広瀬俊雄(仙台錦町診療所・産業医学健診センター)
 連絡先:〒980 仙台市青葉台錦町1-8-32
 仙台錦町診療所・産業医学健診センター
 ☎022-222-7997 FAX 022-225-8495
 (近畿からも積極的に参加下さい。)

第5回産業医・産業看護全国協議会

日 時 1995年10月23日(月)午前9時半~午後5時
 場 所 産業医科大学 ラマツィーニホール

〒807 北九州市八幡西区生ヶ丘1-1
 交通手段 JR: 鹿児島本線 折尾駅から車で約5分
 主 催 日本産業衛生学会 産業医部会・産業看護部会
 企画運営委員長 大久保利晃
 参加費 学生会員 5,000円: 非学生会員 6,000円
 メインテーマ 「産業保健活動-ニーズへの対応と新しい展開」

選挙のお知らせ

平成8年~11年任期の理事、評議員、地方会長、副会長および地方会監事の選挙を行います。学会本部作成の有権者名簿に掲載されている地方会員には選挙管理委員会より投票用紙等を郵送します。投票締切りは10月20日17時地方会事務局必着となっています。 地方会選挙管理委員長 平田 衛

投稿募集

地方会ニュース25号(1996年1月発行)に阪神淡路大震災特集を取り上げたく思います。あまりにも大きすぎる突然の災害であったため、9カ月が過ぎていても、現在なおその渦中にある方も多いと存じますが、地震の発生より1年間を振り返る視点で、復旧にかかわる苦勞、これからの計画、あるいは現在なおある問題など、特にテーマは定めませんのでたくさんのご投稿をお願いいたします(字数は400字~1000字でお願いいたします)。

編集後記

近畿地方会学会のプログラム特集号をお届けしました。地方会ニュースに対する希望、ご意見、お叱りの言葉など、学会場で、広報担当者にお話しただければ幸いです。次回原稿締切りは、編集・印刷が年末にかかるため、やや早めに設定しています、ご了承ください。(宮上)

編集・企画担当者

(広報担当幹事・事務局員)

武田真太郎, 上田美代子, 近藤雄二, 河合俊夫
 中野碩夫, 宮上浩史, 南 勉, 大原昭男

次回発行日 1996年1月1日

次回原稿締切日 1995年11月15日